

平成26年度 公演アーティスト一覧

【音楽：17組】

	アーティスト名	使用楽器	内容	出演者数	紹介
1	大藪 麻美子 他	・声楽：ソプラノ (ピアノ伴奏)	・国内外の楽曲の演奏 ・ピアノ独奏 ・児童、生徒との合唱	2名	都城市出身。みやまコンセール、都城市民会館に於いての演奏会にゲスト出演する他、2001年8月の霧の蔵ホールに於けるm'ami amici (大藪麻美子を応援する会) 主催コンサートをはじめ、都城市を中心とした演奏活動を展開している。
2	外山 友紀子 他	・フルート 〔ピアノ伴奏〕 ヴァイオリン	・国内外の楽曲の演奏 ・ピアノ独奏 ・フルート体験	3名	日南市出身。第44回全日本学生音楽コンクール福岡大会第1位入賞。各地でオーケストラ、室内楽、ジョイントコンサート出演など演奏活動を行う。
3	浜崎 奈津子	・シンセサイザー	・オリジナル楽曲の演奏 ・児童、生徒との合唱	1名	串間市在住。ピアノの弾き語り、ライブ活動を開始。気さくで明るい人柄と持ち味のラブソングで地元のマスコミに注目され始める。楽曲提供にも精力的に取り組み活動を宮崎から東京などに広げつつある。
4	道本 晋一 他	・ギター	<フォークソングの演奏です> ・国内外の楽曲の演奏 ・オリジナル曲の演奏 ・生徒との合奏	2名	宮崎市出身。アコースティックギターのソロ演奏を中心にステージを展開。ポピュラースタンドやオリジナル曲を演奏。東京や海外からギタリストを招いてのコンサートも定期的に行っている。弾き語りのステージも可能。ヤマハポピュラーミュージックスクール講師。MR Tラジオ「道本晋一のフォーク横町」パーソナリティー。
5	北村 美保 他	・フルート、オカリナ (ピアノ、ヴォーカル)	・国内外の楽曲の演奏	3名	西都市出身。第一回クラシックコンクール全国大会出場。フルートアンサンブルやハーブとのデュオ、ピアノとボーカルのトリオ、クラシック以外にもジャズトリオとの共演など、コンサートやイベントに多数参加。最近は大舞台シーンにおいても活動。宮崎笛の会副会長。
6	石川 ゆかり 他	・トランペット (ピアノ、打楽器)	・国内外の楽曲の演奏 ・楽器体験	3名	宮崎市在住。10歳からトランペットを始める。宮崎県内の各種講習会での講師ほか、幼稚園等での演奏を行う。また、県立芸術劇場主催 みやざきの舞台芸術シリーズ「トランペットの夕べ」等を企画・出演。
7	リラの会	・ハーブ	・国内外の楽曲の演奏 ・楽器体験	3名	菊池好志子氏が主宰し昭和62年に結成されたリラの会は、宮崎県内だけでなく、鹿児島や東京にも会員が多数存在し、全国でも貴重なハーブ愛好者の演奏団体である。これまでに、宮崎県庁前で行われる楠並木コリドールやグリーン博みやざき、各コンベンション全国大会アトラクション等多数出演し、多くの人達に「心に響く癒しの音色」で感動を与えている。
8	МИР (ミール)	・ヴァイオリン ・ピアノ	・国内外の楽曲の演奏 ・児童、生徒と合唱	2名	ロシア語で「世界」や「平和」という意味を併せ持つ“МИР”。ロシアへの留学時に感じた「どんな場所でも、子どもからお年寄りまで皆が気軽に楽しめる音楽」をコンセプトに活動している。宮崎を拠点とし、精力的にクラシック音楽の普及に努めている。
9	宮崎グレイス ハンドベルカルテット	・ハンドベル	・楽曲演奏 ・楽器体験	4名	永年、関東地方を中心にハンドベル演奏団体の指揮者として活躍していた高田雅光氏を中心としたグループ。ストリート音楽祭やフローランテ宮崎等のイベントにも出演しハンドベル音楽の普及、啓蒙活動に精力的に取り組んでいる。 (※土日の一部のみ公演可能)
10	新井 武人	・アコーディオン	・国内外の楽曲の演奏 ・オリジナル曲の演奏	1名	福岡県在住。アコーディオン奏者cobaがプロデュースする国内最大のアコーディオンイベントに九州よりただひとり出場するなど、九州屈指のアコーディオン奏者。観客とともに音楽を楽しむパフォーマンスは素朴で飾り気のない楽しさと温もりに満ちている。
11	橘太鼓響座	・和太鼓	・オリジナル楽曲の演奏 ・和太鼓体験 ・岩切代表の講話	4名	古来より、日本の音、文化の魂として鳴り響き続けている和太鼓。今、日向の若者たちが、故郷宮崎の自然や歴史・文化・人の心を音に託し、力強い鼓動を伝える。平成3年8月結成。国内外の公演多数。
12	温故知新	・津軽三味線 ・パーカッション	・オリジナル楽曲の演奏 ・楽器体験	2名	石井秀弦(津軽三味線) 都城市在住。上之園謙治(パーカッション&ドラムス) 三股町在住。日本の楽器である津軽三味線。古典的な津軽三味線を、民族楽器であるパーカッションとのアンサンブルにより、古典的で、モダン(現代風)な演奏を特徴とする。主に九州地区で活動。2001年、イギリス・ロンドンのハイドパークで、10年に1度開かれる〈日本文化行事japan2001〉で演奏。
13	宮崎三曲会	・琴 ・三味線 ・尺八	・国内楽曲等の演奏 ・楽器体験	10名程度	「三曲」とは、箏曲、地唄三絃及び尺八楽の総称またはその合奏のことをいう。宮崎三曲会はその普及発展と地方文化の向上等を目的に活動している。宮崎市の芸術文化連盟にも所属し、学校における演奏実績も多数。国際化が進む中、真の国際人として活躍していくためにも、日本に生まれ育ったものとして、日本の伝統文化の一端に触れる機会を提供する。

平成26年度 公演アーティスト一覧

14	村上三弦道	・津軽三味線	・演奏 ・体験	3名程度	国内はもとよりアメリカ、カナダ、スペイン、ブラジル、アルゼンチン、中国、シンガポールなどの海外公演も行い反響と感動を呼ぶ。伝統音楽を通じて、暮らしと人生に夢を、そして豊かな人づくりを、モットーに幅広く活動している。
15	I N T I	・南米民族楽器 ・ピアノ	・南米音楽を中心とした演奏 ・楽器体験、体験した児童、生徒とのセッション	2名	「インティ」は南米先住民の言語であるケチュア語で“太陽神”の意味。音楽ユニット、インティは2008年、南米先住民のエドウィンと延岡市出身の日本人ショウコで結成しました。さまざまなアンデス楽器とピアノを融合した、新しいアンデスの世界を作り出している。
16	小川 和紘 他	・サクソ ・ピアノ	・演奏 ・楽器紹介・説明 (50名以内)	2名	宮崎県日向市出身。昭和音楽大学卒業。同大学研究生修了。第145回日演連推薦新人演奏会に出演。P. クレストン作曲「サクソフォン協奏曲」のソリストとして九州交響楽団と協演。日向市民吹奏楽団常任指揮者。延岡ウインドアンサンブル代表。MUSIC VERE IN NOBEOKAサクソフォン講師。
17	Whoopin (ウーピン)	・ゴスペル (声楽)	・ゴスペル ・ワークショップ ・児童、生徒との合唱	1名	1986年に、ボニーキャニオンより高橋幸弘(元YMO)と、鈴木慶一(ムーンライダーズ)が立ち上げたレーベル「T・E・N・T」より「ソロ・サピエンス」でソロデビュー。数々のアーティストのステージ、アルバムにヴォーカル、サポートヴォーカル、コーラス等として参加。現在、拠点を故郷の宮崎に移し、宮崎～鹿児島～東京にて、ライブなどの活動を続けている。2005年から、GLAYのドラマー、TOSHI NAGAIのバンド「音生力」のヴォーカルとしても活動を開始。

【演劇等：5組】

	アーティスト名	ジャンル	内容	出演者数	紹介
1	演劇企画「二人の会」 (濱崎 けい子)	・語り ・パントマイム	・芝居 ・ワークショップ (体験活動)	2名	1985年に夫：濱崎辰夫と共に演劇企画「二人の会」を立ち上げる。芝居の公演の他、朗読会を各地で展開。86年に夫が死去。その後は一人芝居、朗読会、ジョイント公演、学校公演、ことばあそびのワークショップ等の活動を宮崎を中心にしながら、東京、福岡などで展開中。
2	劇団パレット	・人形劇	・人形劇 (100名～120名規模程度)	4名程度	熊本県在住 九州一円で活動し、年間800本もの公演を行う実力派人形劇団。誰もが知っている昔話や童話を題材にした人形劇を中心にしながら、近年は、「歯磨きの大切さ」など“教育”をテーマにした作品作りにも精力的に取り組む。
3	渋谷画劇団	・紙芝居	・紙芝居 (50名～60名規模程度)	1名	株式会社漫画家学会(漫会)のアナログ事業部「漫会紙芝居倶楽部」に所属するプロ紙芝居師、画劇作家で構成される紙芝居パフォーマンス集団。 オリジナル作品を得意とする者から古典的な作品を得意とする者まで、メンバー層は幅広い。
4	んまつーポス	・ダンス	・コンテンポラリーダンス(創作ダンス) ・ワークショップ	3名程度	宮崎大学高橋るみ子研究室の卒業生からなる、宮崎を拠点に活動するクリエイティブ・ダンスグループ。結成は2006年。スポーツと芸術との境界域をフィールドとする。グループ名は「スポーツマン」の逆さ読み。「児童生徒のコミュニケーション能力の育成に資する芸術体験」(文部科学省)の派遣芸術家等、講師を勤める。
5	【新規】 劇団こふく劇場	・演劇	・演劇 ・ワークショップ	8名程度	永山智之らを中心に都城市で結成された。1990年以降県内2つの町の文化会館でのフランチャイズカンパニーとしての活動もはじめ、ワークショップ、町民参加作品の創作など、教育・普及活動の一端を担っている。 2007年からは障がい者も一俳優として参加する作品作りをはじめ、質の高さ、活動の社会的広がり両面から高く評価されている。

※「使用楽器」の( )内は、共演者によるものです。構成は変更になる可能性があります。

※「内容」は、平成25年度のもので。公演内容・曲目等については、学校側とアーティストが打ち合わせをし決定していただきます。

(【新規】の記載があるアーティストは、平成26年度、新たに協力を依頼する方です。内容等については、提出された資料をもとに作成しています)

※「人形劇」及び「紙芝居」に記載している人数は、目安となる鑑賞者数です。記載の人数を超える場合は教職員互助会にご相談ください。

※アーティストによっては、出演者以外のスタッフ(音響関係等)が同行する場合があります。

※アーティストのスケジュールによっては、希望のアーティストを派遣できない場合がありますので予めご了承ください。